

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容	
志摩市	<p>対談項目1 伊勢志摩サミット</p> <p>1-2志摩市が取り組むこと (観光地「志摩」の世界への発信～サミット後の志摩づくり)</p>	<p>サミット開催後も魅力ある地域として認めてもらうための取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 志摩市は「サミット推進室」と推進本部を設け、県「伊勢志摩サミット推進局」と連携しながら、開催に向けて取り組んでいく。 また、市内39団体と3団体のオブザーバーによる市民会議も設立し、官民一体となった受入れ体制を構築した。 「クリーンアップ活動」など市全体で環境整備に取り組んでいく。 サミット開催を「インバウンド誘客」の絶好の機会と捉え、地域の受入れ体制の整備を進めるとともに、「志摩」の世界への発信に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 志摩市におかれては、「サミット推進室」や「推進本部」の設置し、迅速に体制を整えていただいたことに感謝します。 また、市民会議では3つの部会を立ち上げ、「オール志摩」で受入れ体制を進めていただいております、感謝します。 首脳会議だけでなく、「配偶者プログラム」、「プレスツアー」、「先遣隊」、メディアセンター内に「三重県情報館」を設置、食材の提供、宿泊予約の調整等についてのご提案・ご協力をお願いしたい。 県も住民懇話会を立ち上げるので、ご協力いただきたい。 県から市に期待することとして、市を挙げて、「花いっぱいおもてなし運動」や美化活動を進めていただきたい。 また、沿道での住民による歓迎や、先遣隊と地域住民との交流をいただければと考えている。 海外の方に対して、県では気づかない資源や人の魅力をご提案いただき、またマスコミ向けのハンドブックの作成について、志摩市が中心となって伊勢志摩地域の情報発信ツールの作成にご提案いただきたい。 「志摩子どもサミット」や「里海」についてもご提案いただくとありがたい。
志摩市	<p>対談項目1 伊勢志摩サミット</p> <p>1-3課題の共通認識 ①(交通渋滞対策としてアクセス整備の必要性)</p>	<p>中部国際空港からのアクセス整備で、空港高速リムジンバスの運行の整備にご尽力いただきたい。</p> <p>水上艇の活用はどうか。</p>	<p>空港からのアクセスとしては、高速船+高速バスの設定が現実的かつ効率的と思われるため、県内事業者の意向も聴き取りながら、連携して検討していきたい。</p> <p>水上艇は、プレスツアーには活用できるかもしれない。</p>	
志摩市	<p>対談項目1 伊勢志摩サミット</p> <p>1-3課題の共通認識 ①(交通渋滞対策としてアクセス整備の必要性)</p>	<p>三重国体までに国道167号磯部バイパスの開通の早期実現にご尽力いただきたい。</p>	<p>国道167号磯部バイパスは、平成26年度に地元で詳細なルートを示し、今年度から用地買収に着手する予定なので、更なるご協力をお願いしたい。</p>	
志摩市	<p>対談項目1 伊勢志摩サミット</p> <p>1-3課題の共通認識 ②(外国人観光客の受入れ体制のためのフリーWiFiの接続環境の整備)</p>	<p>フリーWiFiの整備箇所は、現在市内では3か所のため、伊勢志摩地域でのフリーWiFiMIEの整備、三重旅案内所でのポケットWiFiのレンタル等にお力添えをいただきたい。</p>	<p>フリーWiFiは、NTTが志摩市内で約30か所の整備を進めていただいております、また、県でも上限20万円を限度とした1/2の補助をする制度もあり、現在志摩市の事業者からの申請がないため、積極的にご提案いただきたい。</p>	
志摩市	<p>対談項目1 伊勢志摩サミット</p> <p>1-3課題の共通認識 ③(外国人観光客対応として換金所の設置)</p>	<p>現在、伊勢志摩サミット市民会議では、市内各店舗においてクレジットカードが使える環境整備を進めるよう協議しているが、環境整備されない店舗の発生も懸念されるため、換金所の設置について県と検討していきたい。</p>	<p>郵便局では日本円を引き出すことが可能であり、銀行窓口でも外貨両替が可能なので、外国人もわかるような明示をしていただければと考えている。</p> <p>クレジットカードを利用できる店舗を増やすことが重要なので、クレジットカード決済機器購入にかかる経費を支援する仕組みがあるので、ぜひご活用いただきたい。</p>	

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
志摩市	対談項目2 地方創生について 2-3県立高校の全国からの生徒募集の実施について	県立高校(水産高校・志摩高校)の全国からの生徒募集について	・県立高校の全国からの生徒募集を県として実施していただきたい。	・水産高校については、現在、水産系の高校がない11府県については、募集を行っている所である。 ・ただ、単に募集しているだけなので、例えば11府県の中学の教育委員会を重点的に掘り下げる等、実が上がるような取組をしていきたい。
志摩市	対談項目2 地方創生について 2-4広域連携について	南部地域市町への支援施策における広域連携について	・県の総合戦略と市町の総合戦略が車の両輪となって地方創生を進めていくためには、広域レベルでの県の施策を合わせて講じていくことが必要。 ・ぜひ、広域連携の方向性を示したり、連携化を促していただけるような施策を講じていただきたい。	・南部地域活性化基金と南部地域活性化プログラムについては、現在リニューアルを考えており、定住・定着に繋がるような事業に重点を置く取り組みをしていきたいと考えているので、協力をお願いしたい。
志摩市	対談項目3 サミット開催を契機とした地域づくりについて 3-3他の国際会議を伊勢志摩に誘致	サミット後の国際会議の誘致について	・インバウンド戦略については、地元観光の整備・誘客イベントの開催・着地型商品の開発や地域人材の育成を進めていきたい。 ・また、サミット後の伊勢志摩地域に他の国際会議を誘致していただきたい。	・インバウンド戦略については、情報発信していくと同時に受入れ体制の整備、着地型商品に力を入れていきたい。 ・国際会議の誘致については、三重県に適した会議は何なのかを分析したうえで、誘致に取り組んでいきたい。